





静岡市自治会連合会は、市内各区の自治会連合会と各連合自治会・連合町内会相互で融和・協調を図りながら、各連合自治会等に所属する自治会・町内会等の円滑な運営を促進し、もって市民の福祉を増進するとともに、静岡市全体の発展に寄与する活動を行っています。(規約抜粋)

### 総会

平成二十一年六月十日(水)クール会館にて開催しました。平成二十年度決算及び平成二十一年度予算、平成二十一年度事業計画を承認しました。

### 常任理事会

各区代表の常任理事が出席のもと月一回開催し、各種事業等を協議し承認しました。



### 広報編集委員会

今年度は「自治連だより」第3号の発行を主として活動しました。

### 交通安全・防犯対策委員会

この委員会では、交通安全運動、防犯活動を議題として三回、開催しました。今年度は改正道路交通法施行及び防犯まちづくり推進計画を協議し、地域での運動の一助とすることを確認しました。

### 防災害対策委員会

防災害対策委員会は、今年度三回開催し、主に地域の地震対策について協議し、良い事例は地域の自主防災組織へ伝えるようにしました。

### 教育対策委員会

当委員会では、児童通学合宿・学校評議会制度、放課後児童クラブについて三回、現状調査と議題を協議しました。

### 福祉・環境対策委員会

今年度は敬老事業、セルフレスキュー事業を主として討議しました。また、静岡版「もったいない運動」の進捗状況、今年度の取り組みを調査研究しました。

視察研修

平成二十一年六月四日  
神奈川県相模原市自治会来静。

平成二十一年七月二十三日～二十四日  
三重県伊賀市・名張市へ訪問。自治協  
議会の運営方法、議題等について視察  
しました。



視察研修の様子

平成二十一年十一月二十五日  
神奈川県川崎市自治会来静。主に自  
主防災について質疑応答しました。

静岡市自治会連合会のホームページも、ご覧いただけます。

ホームページURL

<http://jichikai.d2.r-cms.jp>

受賞(章)報告

《おめでとうございます》

藍綬褒章

平成二十一年五月十八日

市川 源一氏(駿河区)

地縁による団体功労者総務大臣表彰

平成二十一年十一月二十五日

杉本 正氏(駿河区)

全国自治会連合会表彰

平成二十一年十一月五日

小長井重郎氏(葵区)  
鈴木 英次氏(葵区)

静岡県自治会活動功労表彰(知事褒章)

平成二十一年六月八日

長谷川泰弘氏(清水区)



全国自治会連合会鳥取大会

平成二十一年度  
静岡市自治会連合会  
役員紹介

専門委員会  
役員紹介

各区三役紹介

会長 市川 源一 (駿河区)

副会長 岸本 俊秋 (葵区)

常務委員 芦澤 庄司 (駿河区)

委員 遠藤日出夫 (清水区)

委員 山梨 昌平 (清水区)

委員 小長井重郎 (葵区)

委員 鈴木 健治 (葵区)

委員 望月 雄介 (葵区)

委員 築地 政平 (葵区)

委員 森谷 正義 (葵区)

委員 小林 輝俊 (葵区)

委員 渡邊 八彌 (駿河区)

委員 杉本 正 (駿河区)

委員 武藤 賀雄 (駿河区)

委員 櫻田 淳司 (清水区)

委員 池上 洸 (清水区)

委員 鶴澤 正 (清水区)

委員 渡邊 保 (清水区)

委員 瀧戸 綽夫 (清水区)

委員 鈴木 正 (駿河区)

委員 牧田 利一 (清水区)

〔広報編集委員会〕

委員長 荒井 桂吾 (葵区)

副委員長 武藤 賀雄 (駿河区)

委員 渡邊 保 (清水区)

〔交通安全・防犯対策委員会〕

委員長 小林 輝俊 (葵区)

副委員長 渡邊 八彌 (駿河区)

委員 大石 篤三 (清水区)

〔防災対策委員会〕

委員長 杉本 正 (駿河区)

副委員長 長橋 芳夫 (葵区)

委員 瀧戸 綽夫 (清水区)

〔教育対策委員会〕

委員長 鈴木 健治 (葵区)

副委員長 稲葉富士雄 (駿河区)

委員 牧田 利一 (清水区)

〔福祉・環境対策委員会〕

委員長 櫻田 淳司 (清水区)

副委員長 堀内 明雄 (葵区)

委員 高田 松彦 (駿河区)

編集後記

自分達たよりの発行にあたり  
紙面の大きさ、内容等を検討の  
結果、このように二冊となりま  
した。皆様の「ご意見等」がいま  
したら事務局まで。

静岡市自治会連合会事務局

住所 〒420-8602  
静岡市葵区追手町5番1号  
静岡市役所新館15階  
☎ 054-221-1568  
FAX 054-221-1568

〔葵区自治会連合会〕  
会長 岸本 俊秋 (葵区内学区)  
副会長 小長井重郎 (葵区東学区)  
委員 鈴木 健治 (駿橋南学区)  
委員 望月 雄介 (宮東地区)  
会計 市川 源一 (宮東地区)

〔清水区自治会連合会〕  
会長 小長井重郎 (葵区)  
副会長 渡邊 八彌 (葵区)  
委員 杉本 正 (葵区)  
委員 武藤 賀雄 (文鏡)

〔清水区自治会連合会〕  
会長 遠藤日出夫 (新井地区)  
副会長 山梨 昌平 (船橋地区)  
委員 櫻田 淳司 (藤井地区)  
委員 池上 洸 (江地区)  
会計 鶴澤 正 (宮東地区)



防犯パトロール



防犯講演会

**第4ブロック** 井宮、井宮北、賤機南、賤機中、賤機北、安倍口、美和、足久保、松野の九学(地)区  
 賤機山の北西から安倍川中流域に広がる住宅街。中山間地への玄関口となる地域です。

美和地区防犯協会・防犯パトロール隊 防犯講演会

安倍口、美和、足久保の三学区から構成される美和地区防犯協会・防犯パトロール隊では、隊員の研修と地域のみなさんの防犯意識向上を目的に年一回、防犯講演会を行っています。

日頃から各地域で、児童の下校時に行う見守り活動や青色回転灯車両による防犯パトロールが行われ、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。



有東木神楽

**第5ブロック** 井川、大河内、梅ヶ島、玉川の四学(地)区  
 安倍川の中上流地域及び大井川の上流地域に広がる中山間地となり、自然の恵みにあふれる地域です。

有東木 白髭神社 秋季祭典

稲刈りの時期に五穀豊穣を感謝して行われる、秋のお祭です。

静岡市の無形民俗文化財に指定されている舞、有東木の神楽が奉納されます。棒の両端の綿の玉に火をつけて行う火の舞は、勇壮で見る者を引きつけます。

有東木では、神楽に限らず国指定重要無形民俗文化財でも有名な盆踊りを始めとして地域全体で伝統的な芸能を伝える取り組みをしています。



**第6ブロック** 服織、服織西、南薬科、中薬科、清沢、大川の六学(地)区  
 清流薬科川流域に広がる閑静な住宅街と豊かな自然が残る地域です。

奥薬科 大川お茶まつり

静岡茶の祖と言われる、聖一國師の生地、板沢がある大川地区では、四月に「奥薬科 大川お茶まつり」が開催されています。

薬科川上流域で収穫される本山茶を地域内の各所で楽しめます。お茶を通して地域の持つ魅力を発信する取り組みです。

**第7ブロック** 千代田、千代田東、西奈、西奈南、北沼上の五学(地)区  
 中心市街地から東部、巴川流域を中心に竜爪山麓まで住宅街が広がり歴史や文化が息づく地域です。

龍爪山穂積神社例大祭 鉄砲祭り

五穀豊穣、交通安全を願い、毎年、四月十七日に近い日曜日に行われる龍爪山穂積神社例大祭は、その昔、多数の鉄砲を射ち放しても怪我をしないことから弾除け砲術の守護神としてもてはやされました。

例大祭の中では鉄砲を打ち放す「鉄砲祭り」が行われ、静かな山間に響く銃の音は迫力満点です。



鉄砲祭り

葵区自治会連合会ブログ発信中!!

まだまだ、素敵な葵区はこちらにあります (\*^\_^\*)

パソコンなら!

携帯なら!

葵区自治会連合会

検索

バーコードリーダーを利用して閲覧できます



ブログURL [http://blogs.yahoo.co.jp/aoi\\_shizuokacity](http://blogs.yahoo.co.jp/aoi_shizuokacity)



板沢茶室



聖一國師の碑



葵区自治会連合会会長あいさつ

静岡市自治会連合会 副会長  
葵区自治会連合会 会長

岸本 俊秋

葵区は、静岡市の中心市街地から三千メートル級の山々を擁する山間部までを区域としています。広い区域の中で自治会・町内会がそれぞれの課題の解決や住民福祉向上のための取り組みを行っています。葵区自治会連合会では、こうした活動への理解や活性化を目指し、地域の自慢や特色などをインターネット上で紹介し、広く地域内外に情報発信しております。

この葵区自治会連合会ブログに掲載された記事の一部を抜粋し、わたしたちの葵区を紹介します。

## 第1ブロック 青葉、城内、伝馬町、横内の四学(地)区

官庁街や文教施設、中心商店街が立ち並ぶ活気あふれる地域です。

### 伝馬町音羽ブロック 地域防災訓練

地域防災の日、東町、横田町二区、横田町三区、音羽町の四つの町内会で組織する音羽ブロックの地域防災訓練が行われました。

避難地の清水山公園では、可搬ポンプ訓練や初期消火、炊き出し訓練、AEDを使用した応急救護訓練などが行われました。こうした機会に、地域のみなさんと顔を合わせ、一緒に取り組むことは、いざという時に大きな力となります。



地域防災訓練



地域防災訓練

## 第2ブロック

新通、胸形、一番町、三番町、田町、安西の六学(地)区

中心市街地から安倍川方面に広がる歴史と文化が息づく地域です。

### 静岡浅間神社

廿日会祭 安西脚(あんさいねり)

毎年四月に行われる静岡浅間神社廿日会祭では、山車屋台で市中を練り歩くお脚が巡行されます。

江戸時代より始まったと伝えられる、歴史と伝統のあるお脚では、様々な山車屋台が曳き回されています。

平成二十一年は、安西学区が当番町として参加しました。満開の桜の下、木遣りや楽しく元気なお囃子、面踊りとともに美しく飾りつけられた山車が曳き回されます。

平成二十二年の当番町は新通学区です。みなさん、ぜひ、お出掛けください。



安西脚

## 第3ブロック

安東、城北、竜南、麻機の四学(地)区

中心市街地から北東部に広がる閑静な住宅街に歴史や自然が残る地域です。

### 安東お花見おしゃべり会

地域に住むお年寄りを招いて行われている。安東お花見おしゃべり会は、二十年以上続く恒例行事です。

静岡市立安東小学校や静岡市立安東中学校の生徒も参加、美しい桜を眺めながら地域のみなさんとの交流が行われています。



安東お花見(城北公園にて)

「丸子宿・宇津ノ谷峠」に手作り案内板

静岡西自然公園連合会 会長 村松 勝美

丸子宿は、「東海道五十三次の訪れてみたい宿場町」全国版のアンケートでも上位にランキングされています。ここ丸子路の古い町並みや旧東海道の難所「宇津ノ谷峠」など、街道の歴史を尋ねて散策する観光客は年々増加しています。また、丸子池田線の開通後は、豊かな自然の恵みや文化を求めて近隣からのリピーターも多く、長田西地域の活性化に弾みも付いてきました。

しかし、どこが「丸子宿」なのか、どこに行けば昔の宿場の名残があるのか案内もありません。丸子路の名所・史跡や現代の文化芸術など、散在し隠れている魅力をもっともっと知ってほしい、訪れた人に喜んでほしいと地域住民が立ち上がりました。そして、手作りした案内板の設置を三年計画で取り組みを始め、初年度「丸子宿通り」に設置しました。みなさんも案内板を辿り、地域の人と触れ合いながら、丸子路を楽しんでください。



手作り案内板



未来へ残す美しい静岡海岸

—— 協働の仲間を募っています ——

今ある自然財産を次世代に継承する目的で、平成十八年十二月に発足し、活動を広げています。

海岸のゴミ拾い、花壇づくり、自然観察会、大浜ビーチフェスタなどのボランティアによる活動を地元町内会の人々、海浜の利用者や管理者【県市】と協働で行っています。

さらには、活動を通して、環境美化啓発や子供達の情操教育の向上を願っています。

問合せ先：静岡・海辺づくりの会

会長 岩崎 謙四郎

☎ 054・237・1004



静岡海岸と富士山

古代を今に 登呂まつり

農耕文化の地登呂遺跡で、昨年十月十日・十一日に弥生時代を偲び開催。

初日は、新穀感謝祭や古代の服を身に纏った女性による「古代の踊り」、幼・小児童の遊戯、区内の御婦人による舞踊の披露と、市立商業高校生の和太鼓の演奏、古代の火起こし、土器づくり体験、夜は葵区郷島の保存会による勇壮な手筒花火が打ち上げられました。二日目は、清水の「港かっぱれ」など多彩な催しが繰り広げられ、それはそれは賑やかでした。

登呂会の皆さんが、登呂の田んぼで丹精し収穫した「赤米のおむすび」を来場者に振る舞い、喜ばれました。

今年も十月に開催しますので、ぜひ、お出かけください。



登呂まつり

駿河のみどころ

久能山東照宮は言わずと知れた徳川家康公の御廟（お墓）。桃山文化の技術による壮麗な社殿群は国の重要文化財に指定されています。平成二十年十月には、五十年に一度の漆塗り替え工事が完了、創建当時のきらびやかな極彩色が現代に蘇っています。なお、表参道の千百五十九段の石段の随所からは雄大な駿河湾が一望でき、付属博物館では、徳川歴代将軍ゆかりの希少な宝物が見られます。





桜花舞う登呂の里に住む幸を

静岡市自治会連合会 副会長  
駿河区自治会連合会 会長

芦澤 庄司

温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれた静岡市。その中で駿河区は唯一人口が増加しています。

現代は向三軒両隣の付き合いが薄く、味気のない時代にも見えます。これで地震災害時の救助など大丈夫なのだろうか、と想定してみてもほしい。緊急時にいち早く救出し命を守るのは、その場に居合わせた人の素早い対応です。本来、人は他人の苦難や不幸を黙って見過ごす事は出来ないし、誰もが思いやりの心を持っているはずで

さあ、地域の行事に参加してみませんか。人と関わりを持つ事で信頼関係も生まれます。顔を合わせ井戸端会議も楽しいもの。「地域を大切に」する「新しい年度」の目標として皆様と共に取り組んでいきましょう。

## 駿河区を明るくしよう

区自治会連合会重点活動の一つ。

地域みんなで、「あいさつ」や「ふれあい」を深め、また、犯罪や交通事故の防止を心がけ、共に助け合うまちづくりをめざしています。



表示のシールは、防犯意識の喚起のために、区内に全戸所に貼付しています。



## 毎年恒例になりました!! みんなでお掃除の日

毎年十月から十二月にかけて、地域でお掃除の日が実施されます。

この活動を通して、「自分たちの町をきれいに、そして汚さない」の意識が子どもから高齢者まで浸透しつづけています。各地の報告から、地域のふれあいが感じられました。

お母さんと弟の三人で参加したよ。友達にも会えて楽しかった。(小五女子)

信号機前の歩道にポイ捨てタバコが多いのに驚いた。喫煙者のモラルが大切だ。(中年男性)

## 清水地区連合自治会 清水次郎長の気概で まちづくり事業展開

清水地区広報部会長 長谷川昇一

清水地区は清水港の日の出埠頭を抱え、新感覚で出来上がった市民集いの場として賑わう「マリナーパーク」を配すなど活気を呈しています。

清水次郎長こと山本長五郎の生家を中心とした「次郎長通り商店街」は地区の中心にあり、中を流れる巴川の東岸（榮地町）には次郎長をヤクザの親分から一躍、義侠の男として認められるに至った「威臨丸の死者を埋葬した杜士の墓」があります。本来人情の交わりが非常に強いことが清水地区の底力となっており、各種団体の積極性を元に色々なまちづくりが行われています。

正月のどんと焼き、町内対抗運動会、コミュニティ



どんと焼き



コミュニティー祭り

祭り、港祭り前夜祭、盆飾り物回収供養、等のイベントの他、防災訓練、交通安全運動、環境整備等、時代の求める行事も地区一丸となつて進め効果を上げています。それらの情報は広報版「町のスポット」に掲載の毎月全戸配布されています。また、シリーズ掲載の「町の記念碑」や人物紹介「頑張っている人」は地域の身近な読み物として好評です。清水区民大会で常に上位を確保している実績と清水発祥の地としての自覚と気概で頑張っています。

## 辻地区連合自治会

### 変わりゆく清水駅周辺

辻地区連合自治会 池上 洸

清水駅周辺は辻、江尻地区自治会が混在し、自治会区と学校区が一部異なり、また、駅前商店、駅前銀座、グルメ通りと商店街のある地域です。

清水区の玄関に当たる清水駅を中心に、市街地再開発事業並びに建築物等整備事業が進められており、これから数年で大きく変貌しようとしているところです。

駅前（江尻口）ロータリーが拡張され、その中にバスターミナルが移り、鉄道とバスの乗換えが便利となり歩道部分はゆとりのあるスペースが確保されます。移動したバスターミナル跡地には、二十六階建ての大きなビルができ、マンション・商業・業務施



26階建てビル(完成予想図)

設となる予定です。さらに、駅東口側（みなと口）には文化施設が計画されており、駅周辺が賑わいと活気を取り戻すきっかけとして期待されます。

少子高齢化により日常生活での支援を必要とする一人世帯が増加し、地域の体力が低下、自主防災会の弱体化も否めません。

お互い助け合う、自助共助の「福祉のまちづくり」を推進しているところです。

## 小島地区連合自治会 国指定史跡「小島陣屋跡」で 豆力士が伝統の相撲大会

小島町自治会長 海野 悟章

小島町自治会は、清らかな興津川沿いにある六百六十四世帯の地区です。今年度は「地区住民の生命、財産を守る自治会」を目標に、「触れ合いと安全」を合言葉に活動を進めてきました。

特に、小島小学校の児童と一緒に第二回目となる通学合宿「ほうもう舎」をサポートしたり、秋のお日待ちの地元祭り「酒瓶神社奉納相撲大会」では、幼児から六年生の豆力士達が親の声を背中を受けながら、土俵上で熱戦を繰り広げました。低学年は土俵上で「らめこ」をして爆笑を誘い、高学年ではまわしを付けた子ども達の凜とした心意気を感じました。

小島町には、宝永元年に築かれた小島陣屋跡が現存し、八十名余りの「文化財を守る会」の会員が中心となつて整備しています。平成十八年に国指定史跡に指定され、今年度は県の文化奨励賞受賞の栄誉にも恵まれました。

小島藩の秋の収穫のお練りが昭和二年から神社境内での奉納相撲になり、平成十四年から子供会を中心とした「子ども相撲大会」に受け継がれている文化と伝統です。これからも住民全員が楽しく暮らせる、安全、安心の地域づくりの輪（和）を目指して精進していきます。



小島陣屋跡





更なる町づくりを

静岡市自治会連合会 副会長  
清水区自治会連合会 会長

遠藤日出夫

日本は豊かになりましたが、豊かになった結果日本人は大切なものを忘れてしまったのではないのでしょうか。大切なものは、人の心の優しさ、思いやりの心です。「自分さえ良ければ人はどうでもよい」と言う気持ちを変え、人と人との絆を大切にしたい。共助の精神を大切にしなければ、益々進む高齢化社会で安心して穏やかな生活を送る事は出来ません。

助け合いの社会を作る為には、コミュニティの強化しかありません。コミュニティの強化イコール町づくりです。言いかえれば町づくりとは、コミュニティの再構築だと思えます。私は更なる町づくりをめざして行きたいと思っています。

### 三保地区連合自治会

#### 三保の松原が

#### 枯枯れでピンチ

三保地区連合自治会長

内藤睦夫

白砂青松、天下の名勝三保の松原がピンチです。平成17年頃から松枯れが著しく四千五〇〇本の樹齢百五〇、二〇〇年松が伐倒されました。

松枯れの原因は、松食い虫と言われるマツノサイセンチュウという、一ミリ程の小さな虫が、マダラカミキリという虫の介在により、松の幹と皮の間に繁殖し養分が全体にゆきわたらなくなり、枯れて松葉が赤くなってしまうのです。

松枯れの被害を防ぐためにはどこかで

病気の連鎖を断ち切ることが必要です。そのためには、被害木を切り倒し薬剤をかけたります「駆除」や、健康な松に前もって薬剤散布する「予防」、更には、松林の中をきれいにする「健全化整備」などの対策が必要です。

三保地区連合自治会では地域の人手と話し合い、三保の松原の健全育成のため日頃から松林の健康管理に留意すると同時に、松を失わないため松を増やす取組みを進めています。今後地域内の各種団体や企業に働きかけ、植樹運動を展開し、美しい三保の松原を守って行かなければなりません。

### 庵原地区連合自治会

#### 庵原協働まちづくり会議

#### 火災報知機共同購入で約八パーセント設置

庵原地区連合自治会長 望月晴男

庵原協働まちづくり会議による、防火防災フォーラムが昨年十一月十日、地域の安全と安心して暮らせるまちづくりを推進するため開催されました。平成二十一年五月までに設置が義務付けられている住宅火災報知機について、静岡市湾岸消防署の説明を受けながら、地域を挙げて、庵原地区二千七百世帯を対象とし庵原連合自治会による

共同購入を行い、三千八百三十一個の設置ができました。

全国設置率四十パーセント、庵原地区七十七パーセントの設置率の調査がまとまり、当フォーラムで発表を行いました。

当日は、夜間防災体験が行われ、起振車による震度七という体験ができました。煙体験・AEDによる心肺蘇生の説明と庵原地区における防火防災活動についてパネルディスカッションが行われました。

今後、火災報知機の設置率百パーセントの目標と、設置場所の再点検を庵原地区連合自治会と清水第十五分団消防と共同で進め、火災を早期に発見し、火災による被害を最小限にすることが最大の目的です。



三保地区・植樹運動の様子



庵原地区・防火防災フォーラム